

## 亀高学術出版賞規定（2006年8月23日制定，2012年5月12日改定）

一般社団法人日本家政学会家政学原論部会は、当部会の発展に多大の貢献をされた亀高京子先生のご寄付を基金として、家政学原論研究における学術出版の振興を目的とした学術出版賞を制定する。

### 〈受賞規定〉

#### I. 受賞対象

過去3年間に刊行された、家政学原論（家政学論，家庭生活論，家政学史，比較家政学，家政学の社会的展開や将来展望等）に関する学術出版物で、特に優れた内容を備えていると判断されるもの。但し、執筆者（単著または共著者）はすべて当部会員であること。

#### II. 推薦方法

- (1) 当部会員は、全員、交付対象となる学術出版物の推薦をすることができる。
- (2) 推薦は、選考委員会所定の用紙を用い、推薦理由を付記する。
- (3) 選考には、選考委員会を設置する。
- (4) 選考委員会は常任委員会が指名した5名（常任委員3名，一般会員2名）をもって構成する。
- (5) 選出は選考委員過半数の同意によって決定する。委員が都合により委員会に出席できない場合は、あらかじめ書面をもって選考意見を委員長に埒出しなければならない。
- (6) 選考委員会は年次総会において、選考結果と選考理由を報告しなければならない。

#### III. 受賞方法

- (1) 受賞は年次総会において行う。
- (2) 受賞は部会長が行い、賞状と賞金（1件10万円）を執筆代表者に手交する。
- (3) 執筆代表者は、当該総会において受賞対象となった学術出版物の概要を含む挨拶を行わなければならない。

#### IV. 付則

- (1) 家政学原論部会に対して、学術出版助成を目的として行われた寄付金は、亀高基金に加えることができる。
- (2) この規定の改廃は、総会の承認を受けるものとする。
- (3) この規定は、平成24年5月12日から施行する。

### 亀高学術出版賞の受賞出版物

回	受賞者	受賞年
1	(社) 日本家政学会家政学原論部会若手研究者による『家政学原論』を読む会 (著)、亀高京子 (監修)、八幡 (谷口) 彩子・上村協子・川上雅子 (編集) 『若手研究者が読む『家政学原論』2006』家政教育社(2006)	2007
2	ヴァージニア・B・ヴィンセンティ (著)、倉元綾子 (訳) 『アメリカ・ホーム・エコノミクス哲学の歴史』近代文芸社(2005) 住田和子 (編) 『エレン H. スワロウ・リチャーズ著作集(Collected Works of Ellen H. Swallow Richards) (復刻集成版)全5巻』エディション・シナプス (Japan) (2007)	2008
3	表真美 (著) 『家庭と教育 子育て・家庭教育の現在・過去・未来』ナカニシヤ出版(2013)	2014
4	佐藤真弓 (著) 『生活と家族—家政学からの学び』一藝社(2016)	2017
5	石渡尊子 (著) 『戦後大学改革と家政学』東京大学出版会 (2020)	2020